

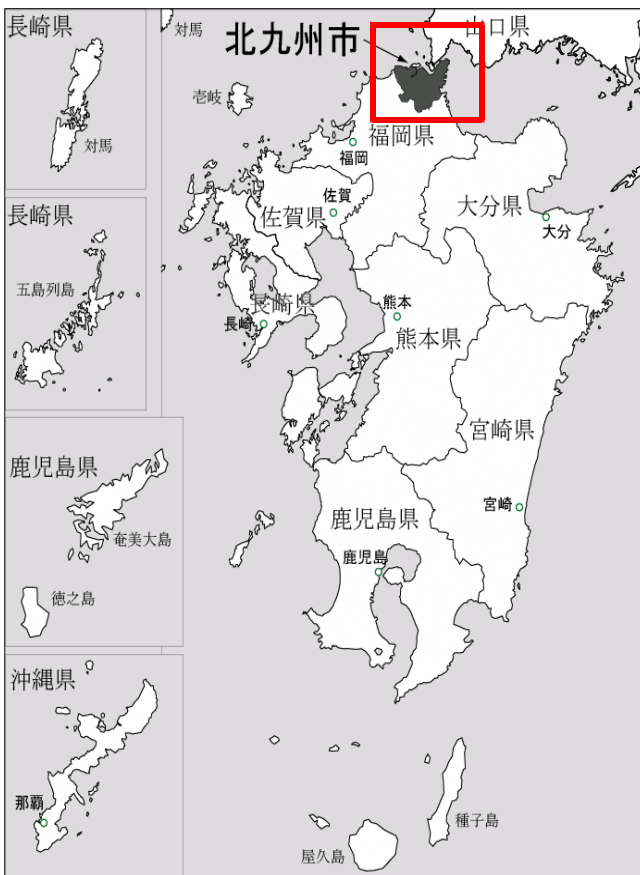
## 出資法人等の見直し

### 北九州市

#### ○ 取組の概要

外郭団体、及び外郭団体以外で市が主体的に関わった施策の事業主体として設立された第三セクターのうち欠損金を抱える団体、合計 33 団体を対象として、経営改善に向けた見直しを実施。

#### ○ 北九州市の概要



##### 北九州市の概要

###### 市役所所在地

●福岡県北九州市小倉北区内1-1

###### 人口

●990,878人

※H17.3.31現在（住民基本台帳人口）

## ○ 取組について

---

### 1. 取組の背景

外郭団体の経営改善は、北九州市における行財政改革の大きな柱の一つであり、これまで「公営企業・外郭団体等経営改善委員会報告（平成 10 年 11 月）」「北九州市外郭団体改革推進計画（平成 11 年 3 月）」「北九州市外郭団体経営改善計画（平成 12 年 2 月）」等に基づき、改革項目の具体化に取り組んできた。

しかし、外郭団体によっては、今日の社会経済状況の変化等により、団体の設立目的の達成度・妥当性、団体の存在意義が大きく変化しているものがあるため、更なる改革が求められるようになった。

なお、平成 13 年度決算において、単年度損益収支が赤字となっている団体は 10 団体（平成 15 年度 15 団体）で、累積損益収支が赤字となっている団体は 8 団体（平成 15 年度 7 団体）である。

### 2. 取組の具体的内容

#### ■「北九州市外郭団体経営改善推進プラン」（平成14年2月）

○社会状況の変化への対応、公民の役割分担の明確化及び利用者の視点に立った運営・効率化の推進等の基本的な視点から、外郭団体の経営分析等を実施し、経営上の問題点・課題の把握とその改善に向けて、団体の統廃合も含めた今後の取組方向を取りまとめた「北九州市外郭団体経営改善推進プラン」を平成 14 年 2 月に策定した。現在、このプランに基づく取組を推進している。

#### ■「北九州市外郭団体等の経営改善に向けた今後の方向性」（平成15年3月）

○平成 14 年 7 月、「北九州市外郭団体経営改善推進プラン」に基づいて、外郭団体の適正かつ健全な経営体制の確立を図るため、学識経験者、公認会計士等で構成する第三者委員会「北九州市外郭団体経営監理委員会」（以下、「経営監理委員会」）を設置した。外郭団体と外郭団体以外で市が主体的に関わった施策の事業主体として設立された第三セクターのうち欠損金を抱える団体を合わせた 33 団体を対象に各団体の経営状況、設立目的の有効性等についての審議を行い、平成 15 年 3 月、「北九州市外郭団体等の経営改善に向けた今後の方向性」を報告した。

○報告の主な内容は次のとおりである。

- ・解散を検討すべき団体（2団体）
- ・団体の今後のあり方を検討すべき団体（4団体）
- ・統廃合、組織連携を検討すべき団体（5団体）
- ・第三者評価・市民公表の推進を検討すべき団体（2団体）
- ・制度の見直し等を検討すべき団体（3団体）

## ■経営評価・ヒアリングの実施

○「経営監理委員会」は、各団体の決算数値等に基づいた経営状況及び平成15年3月の報告に基づく今後の方向性の取組状況を把握した上で、経営状況が改善していない団体、今後の経営見通しに不確定要素がある団体及び今後の方向性の取組状況が進展していない団体等について、ヒアリングを実施している。

## ■監査の実施・評価

○「経営監理委員会」では、ヒアリングを実施した団体のうち、実地で調査を行う必要がある団体及び更に詳細なデータ等を確認する必要がある団体等について、監査を実施している。平成15年度は5団体を対象に、財務管理に加えて、契約・発注をテーマとした特殊監査を実施した。

○平成16年度は、団体の設立目的、継続性及び経営改善への取組などの観点から、団体固有の経営上の重要課題をテーマに特殊監査を実施している。

○さらに、平成16年度から、出資団体に対する監査体制を強化するため、地方自治法第199条の規定に基づく市監査委員による出資団体監査のサイクルを見直し、4～5年ごとに行っていたものを、2年ごとに変更した。

## ■その他の取組

### ●研 修

○平成14年度から、外郭団体の職員等を対象に経営管理体制の強化をテーマとした研修を実施している。

## ●情報公開

### (ア) 北九州市が出資する株式会社の経営情報報告

○北九州市では、これまで、市情報公開条例に基づいて外郭団体の情報公開に取り組んできた。しかしながら、外郭団体等の情報公開のあり方については、市議会本会議などでもさまざまな議論がなされたことから、平成16年度より、市が3%以上を出資する株式会社の経営情報について、株主総会資料を基に、市が株主の立場で、市議会各常任委員会に報告することとした。

### (イ) その他情報公開に向けた取組

#### a 第三セクター新設、増資の際の議会説明の徹底

○北九州市が新たに出資する場合や、必要に応じて増資する場合等については、事前に事業の有効性や必要性、今後の収支見込み等について市議会に説明すること等により、第三セクターの経営の透明性を高める。

#### b 出資法人の概要（冊子）の充実

○平成12年度から発行している北九州市出資法人の概要（冊子）の充実を図るため、平成15年度から、外郭団体・第三セクターの財務諸表（貸借対照表、損益計算書又は収支計算書）を新たに掲載し、情報提供に努めている。

### 3. 取組にかかる事業費

○事業名：「外郭団体の経営改善に向けた取り組み」（経営企画室）

・事業費（一般財源）

平成14年度（決算）	平成15年度（決算）	平成16年度（予算）
4,102	3,201	4,583

（単位：千円）

経営監理委員会開催経費、出資法人の概要作成経費等

### 4. 取組の体制

- ・外郭団体等の経営改善についての総括は、「総務市民局経営企画室」が担当している。
- ・個別の団体については、所管局において、所管団体の運営状況等を的確に把握し、必要な指導または調整を行っている。
- ・また、「経営監理委員会」において、外郭団体の経営評価・監査を実施している。

## 5. 取組の成果

○事業名： 「外郭団体の経営改善に向けた取り組み」 （経営企画室）

・事業の実施状況： 外郭団体経営監理委員会の開催回数

	平成 14 年度	平成 15 年度
（実績）	3 回	4 回

・事業の成果： 外郭団体の解散数

	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度
（実績）	1 団体	0 団体	3 団体
（目標）	1 団体	3 団体	1 団体

○経営監理委員会報告の取組状況

・解散した団体： 3 団体

小倉観光（株）、新門司マリーナ（株）、（株）北九州情報ひろば  
→ いずれも平成 16 年 3 月に解散し、清算済みである。

・減資を行った団体： 2 団体

日明コンテナ埠頭（株）、ハートランド平尾台（株）  
→ いずれも平成 16 年 6 月の株主総会で減資が承認された。

・事務部門の連携を強化した団体： 3 団体

（財）北九州都市協会、（財）アジア女性交流・研究フォーラム、（財）国際東アジア研究センター  
→ 物品調達の集中化、公用車の共同利用、嘱託職員採用試験の統一等を行った。

・個別の第三者委員会を設置した団体： 2 団体

（株）北九州輸入促進センター、北九州高速鉄道（株）  
→ いずれも経営改善等に関する提言を受けている。

## 6. 今後の課題

今日の社会経済状況の変化により、団体の設立目的の達成度・妥当性等が大きく変化しているものもあるため、委託料や補助金の点検・見直し、簡素で効率的な執行体制の確立など、統廃合、民間譲渡、完全民営化を含め、今後も継続して時代の変化に即応した経営体への改革を図る必要がある。